

昭和の御大礼と奉祝事業

町内にみる 御大礼の記念事業

先月号では、昭和の御大礼（即位礼・大嘗祭など一連の皇位継承儀式）を祝い、当時の村々が鎮守社の玉垣整備などを行ったことを紹介しました。今月号は、さらに具体的な奉祝事業の事例をご紹介します。

中広川尋常高等小学校 講堂建設

昭和61年、創立90周年を記念して、現在の屋内運動場が建設されました。それに伴う旧講堂解体工事中に、「玄関礎石」と刻まれた御影石が見つかっています。

『中広川小学校創立百周年記念誌』によると、講堂と裁縫室ができたのは昭和3年10月。さらに当時の中広川村青年会は、校庭に御大典記念園（記念碑）を造っています。このことから、講堂建設と記念園は同じ時期のもので、御大礼を記念した事業と考えられます。

神社の合祀

上広川村吉常では5000円余りの経費を投じ、村内

の四柱宮・天満宮・若宮宮・八幡宮の4社を、現在の八幡神社に合祀（神社の祭神を別の神社に合わせて祀ること）しました。記念碑によると、落成式は昭和4年10月に行われています。

同じく鬼ノ瀨では、村内の若宮社・稲荷神社・照殿宮の3社を、現在の若宮神社に合祀しました。記念碑によると、「昭和4年9月移遷合祀」とあります。

山村橋

町内に残る唯一の石造眼鏡橋（単眼橋）で、全長425センチメートル×幅306センチメートル（中央部厚100センチメートル）。「御大典記念・山村貞吉寄附・昭和3年10月建設」と刻まれており、山村貞吉個人の寄附で架けられた橋であることが分かります。

いずれの事例にしても、昭和の御大礼が、いかに国民挙げての祝いごとであったかを物語っています。



(上) 昭和の御大礼を記念して、山村貞吉個人の寄附で架けられた山村橋。（長延区・下流から撮影）
(下) 中広川小学校旧講堂玄関の礎石。旧講堂は昭和の御大礼を記念して建てられた。

広川町古墳資料館だより

岡山県倉敷市に、弥生時代後期の墳丘墓としては最大級の「榎築遺跡」（全長約72m×径50m）があります。かつては墳丘墓上の神社に「亀石」（写真）と呼ばれるご神体が祀られていましたが、現在社殿はなく、亀石は墳丘脇の収蔵庫に保管されています。

注目すべきは、直弧文の源流とも考えられる「弧帯文」が表面にすき間なく線刻され、正面には人面も見られる

特異な人工物であるということです。大きさは長径93cm×短径88cm×厚さ35cmで、重さは350kg。石材は紅柱石と呼ばれる蠟石で、同じ石材で復元しようにも、この大きさの蠟石は採掘不可能といわれています。



総合クラブひろかわ

- ウォーキング&工場見学 参加者募集 -

春の息吹を感じながら町内を歩きませんか？
ネジを作る機械を作る工場「中島田鉄工所」も見学します。

- [日 時] 3月28日(土)、8:30 集合
 [集合場所] 広川球場西側駐車場
 [服 装] 歩きやすい服・靴
 [持参物] 参加費 100 円 (保険代含む)、飲料水
 [申込方法] 3月23日(月)までに、総合クラブひろかわ事務局へお電話ください。



コース

- 広川球場 (出発)
 →工業団地周辺 (中島田鉄工所見学)
 →清楽茶屋
 →久留米カントリークラブ
 広川ゴルフ場
 →太原
 →広川球場 (昼ごろ帰着)



※雨天時は中島田鉄工所見学のみ
 (集合場所から車で移動または現地集合)

問 総合クラブひろかわ事務局 (教育委員会事務局生涯学習係内) ☎ 0943-32-0093

広川文芸

広川短歌会



- さそい合い区の元気アップ道場へ 腰痛減らしみんなに笑顔 姫野 洋子
 幾たびの越えなきやならぬ逆境に泣いたらあかん負けてもあかん 横山 方子のりこ
 吊るし柿甘酒食みて留守番の七日正月しづかに祝ふ 野中 勝美
 この辛さ切れば楽よと医者も言う するか決別まよう決断 蓮子 住雄
 追伸も添へて友の筆字つく曾孫誕生太めに書いて 美座 時朗
 昨年は雪降り足留めありしこと記す隣りに今日の出来事 高橋 和子
 ひと枝の初花つばき添へにけりもの言ひたげな写し絵の母 青木佳代子
 満開の梅の小枝に隣家の猫が登りて寝そべつてゐる 原 千恵子
 小正月邪気はらひとて小豆粥ホームの昼餉饒舌となる 野中ヨシ子
 恵方巻向かうる空に星ひとつ道路工事の騒音聞きつつ 結束 節子
 ランニングマシンに走る十五分 外は冬晴れきさらぎ朔日 山下 整子
 庭すみの金柑の実を落としゆくいたずら小鳥少し突いて 中川原勝代
 お母さんの庭は春だね 嫁に言はれ裏庭にできれば一気に梅の花 鹿田 恵